

5. 事業が長期間要している理由は？

【元々が長期計画

不測の事態により長期化】

事業区間中央部に位置する橋梁架替及び事業区間起点付近の用地交渉が難航し、不測の年数を要したことにより、道路拡幅着手が遅れた。



6. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし

・ 事業計画の変更 ・ スケジュールの変更

館林市中心市街地の混雑を解消するための事業であり、現在77%まで進捗している。

なお、問題になっていた2件の用地買収についても、平成21年度に協力が得られた。

このため、補償物件の移転後に橋梁架替工事と電線類地中化工事を実施し、平成24年度末には供用開始予定である。